

目 次

I. 総括研究報告

- がん死亡率減少に資するがん検診の精度管理手法に関する研究 -----1
斎藤 博

II. 分担研究報告

1. エビデンス・プラクティスギャップ解消のための精度管理手法の研究 -----38
佐川 元保
2. 検診効果の最大に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究
- 子宮頸がん検診における検診機関のチェックリストのあり方についての検討 - -----41
青木 大輔
3. 免疫2日法を用いた大腸がん逐年検診における中間期癌に関する研究 -----48
渋谷 大助
4. 職域大腸がん検診における精検受診率の陽性反応適中度に与える
影響に関する研究 -----57
西田 博
5. 大腸がん個別検診において精検受診率に影響する要因 -----60
松田 一夫
6. 肺癌を中心とした新しい検診精度管理指標評価手法に関する研究 -----66
中山 富雄
7. 未把握率から見た乳癌検診施設の精度管理状況に関する研究 -----70
笠原 善郎
8. 精度管理手法の国際比較研究 -----73
濱島 ちさと
9. 検診効果の最大に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究
- 職域検診における実態把握 - -----77
- がん検診の情報提供の在り方についての検討 -
- がん検診の精度管理についてのがん登録データの利用 -
雑賀公美子
10. 都道府県主導による精度管理向上に関する研究 -----82
- 生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況について -
町井涼子

- III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----91